関西学生卓球連盟

日学連副会長　高島　規郎

令和２年頃から、新型コロナウィルス感染拡大が世界中で増大し、多数の死者を出す国際社会に入ってから、今なお感染が収束しない現状において、医療関係、経済関係が悪化し、国民生活にも大きな影響と打撃を受けている。スポーツ界においても、大会中止、延期が続き、大会が実施されるようになっても、観客動員が出来ない状況が続いている。選手にとっては、大会が開催され、日々の努力の成果を発揮するための場をなくす無念さは、測り知れないほどの心の痛みを感じているに違いない。

また、試合ができたとしても、熱い応援が無ければ、最高のパフォーマンスを発揮することが難しくなる。

選手には応援が発奮材料になる。「応援があったので最後で頑張れた」「きついと思う気持ちも応援が入るので気が抜けなかった」と感謝する。どんなスポーツ競技でも、「多くの観客が集まれば選手にはプラスに働く」と感じる。私も長年卓球一筋で人生を歩んできましたが、どのような競技スポーツにあっても次の３つの要素が要求される。

①素質（才能）ー生まれ持った能力

②運ー計算して幸運や強運を勝ち得ることはできない

③努力ー努力のみが一番計算できるものとして考えられる

　　　　努力の結果次第で勝敗が決定されるといっても間違いではない。

人は、自分には才能がないからと言ったり、運が悪かったからと言ったりするが、努力が足りないからとはあまり言わない。スポーツ種目によっては才能そのものが優先されるものがある。スポーツは20代後半でピークを迎えるから、回り道ができない。そこまでの正しい道のみは、指導者が作ってあげなければいけない。今年こそ、多くの観衆の中で選手の最高のパフォーマンスを見たいものだ。

「一つの事に集中すれば、一つの事が生きてくる。」